

現況調査表ガイドライン

国立大学法人及び大学共同利用機関法人の
第 3 期中期目標期間の教育研究の状況についての評価

（2020 年度実施：4 年目終了時評価）

2019 年 7 月

独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構

はじめに

- 「現況調査表ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（以下「機構」という。）が2019年3月に公表した「実績報告書作成要領」（以下「作成要領」という。）の「第3章 学部・研究科等の現況調査表の作成方法」に基づいて、国立大学法人及び大学共同利用機関法人（以下「国立大学法人等」という。）が11の学系別に設定された記載項目（以下「学系別の記載項目」という。）ごとに調査・分析し、現況調査表を作成するに当たり、学系別に“指針”として参考となるよう示したものです。

【第3期中期目標期間の現況分析における学系】

人文科学系、社会科学系、理学系、工学系、農学系、保健系、教育系、総合文系、総合理系、総合融合系、大学共同利用機関（計11の学系）

- このガイドラインは、機構の国立大学教育研究評価委員会の下に、11の学系別検討チームを設置し、各学問分野の特性を踏まえて協議し作成しています。

- 「学系別の記載項目」は、第2期中期目標期間（2010～2015年度）の教育研究評価における国立大学法人等及び評価者からのアンケート結果等に基づき検証した結果、国立大学法人等からの「何を記載すべきか迷った」との意見、評価者からの「記載内容が多様で判断が難しい」との意見を解消するために設定したものです。

「学系別の記載項目」については、国立大学法人等に対する意見募集手続（2019年1月7日～2月6日）を経て、「作成要領」において公表しています。

- 国立大学法人等が「現況調査表」を作成するに当たり、本ガイドラインを参照することによって、現況調査表に記載する内容が明確になるとともに、評価者が分析項目ごとに各記載項目に整理された内容で判断しやすくなることを期待しています。

※ 本ガイドラインの作成に当たっては、一般社団法人国立大学協会からの依頼文書（令和元年5月16日付け）（以下「国立大学協会の依頼文書」という。）に基づき、機構の学系別検討チーム等において依頼事項を検討し、国立大学法人等に混乱を生じることがないように配慮しつつ、本ガイドラインに反映するようにしています。

< 目 次 >

はじめに	i
目 次	ii
I 現況調査表の分析項目及び記載項目の概要	1
II 「基本的な記載事項」について	4
III 「第3期中期目標期間に係る特記事項」について	10
IV 現況調査表・別添資料のイメージ	12
V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」	
1 人文科学系	31
2 社会科学系	41
3 理学系	51
4 工学系	61
5 農学系	72
6 保健系	83
7 教育系	93
8 総合文系	103
9 総合理系	113
10 総合融合系	125
11 大学共同利用機関	136

【各種様式】

○ 必須記載項目「授業形態、学習指導法」等に関する様式	141
・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数	
○ 必須記載項目「履修指導、支援」に関する様式	142
・ 履修指導の実施状況が確認できる資料	
・ 学習相談の実施状況が確認できる資料	
・ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料	
・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料	
○ 必須記載項目「学生の受入」に関する様式	143
・ 入学定員充足率	
○ 必須記載項目「卒業（修了）率、資格取得等」に関する様式	144
・ 標準修業年限内卒業（修了）率	
・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率	
○ 必須記載項目「研究の実施体制及び支援・推進体制」に関する様式	145
・ 当該現況分析単位に関する本務教員の年齢構成が確認できる資料	

I 現況調査表の分析項目及び記載項目の概要

1 教育に関する現況調査表の分析項目及び記載項目について

- 「教育の水準」は、評価時点における各学部・研究科等の教育活動及び教育成果の状況から判定します。このため、二つの分析項目を定め、各分析項目に記載項目を設定しています。記載項目には、必須で記載を求める項目（以下「必須記載項目」という。）、任意で選択して記載できる項目（以下「選択記載項目」という。）があります。このうち、選択記載項目は、学系別に一部異なっています。
- （V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」（p.31～）の「記載項目」欄を参照）

「教育の水準」の分析項目及び記載項目

分析項目	記載項目	
I 教育活動の状況	必須記載項目	1 学位授与方針
		2 教育課程方針
		3 教育課程の編成、授業科目の内容
		4 授業形態、学習指導法
		5 履修指導、支援
		6 成績評価
		7 卒業（修了）判定
		8 学生の受入
	選択記載項目	〇〇〇〇（学系別に一部異なる）
II 教育成果の状況	必須記載項目	1 卒業（修了）率、資格取得等
		2 就職、進学
	選択記載項目	〇〇〇〇（学系別に一部異なる）

※ 「教育の水準」に関する必須記載項目の設定に当たっては、機構の大学機関別認証評価（領域6「教育課程と学習成果に関する基準」）の記載内容（基準や分析項目）との関係を考慮しています。

※ 「教育関係共同利用拠点」について、単独の現況分析単位として作成する場合には、上記の「分析項目 I 教育活動の状況」の必須記載項目4及び5のみ必須記載項目として取り扱ってください。

2 研究に関する現況調査表の分析項目及び記載項目について

- 「研究の水準」は、評価時点における各学部・研究科等の研究活動及び研究成果の状況から判定します。このため、二つの分析項目を定め、各分析項目に記載項目を設定しています。記載項目には、必須記載項目及び選択記載項目があります。このうち、選択記載項目は、学系別に一部異なっています。

(V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」(p.31～)の「記載項目」欄を参照)

「研究の水準」の分析項目及び記載項目

分析項目	記載項目	
I 研究活動の状況	必須記載項目	1 研究の実施体制及び支援・推進体制
		2 研究活動に関する施策／ 研究活動の質の向上
		3 論文・著書・特許・学会発表など
		4 研究資金
	選択記載項目	〇〇〇〇 (学系別に一部異なる)
II 研究成果の状況	必須記載項目	1 研究業績

3 記載項目の構成について

- 各記載項目は、「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」から構成されます。「作成要領」の第3章「4 現況調査表の様式と記述に当たっての留意事項」(p.12、15)において指定しているとおり、「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」を併せて、記載項目一つ当たり1頁として算出される総頁数を目安に記述してください。

【基本的な記載事項】

当該記載項目を調査・分析するに当たり、必要と認められる記載事項。

この記載事項に該当する場合には、必ず記述してください。また、その内容が明確に理解できるよう、根拠となる資料・データを提出してください。

⇒ 「II 「基本的な記載事項」について」(p.4～)をご覧ください。

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

当該記載項目を調査・分析するに当たり、第3期中期目標期間(2016年度から)における当該学部・研究科等の優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果を記載する事項。

すべての記載項目に記述する必要はありませんが、当該学部・研究科等の教育または研究に関する分析項目を評価者が総合的に判定するために、「基本的な記載事項」とともに判断する根拠として利用されます。

⇒ 「III 「第3期中期目標期間に係る特記事項」について」(p.10～)をご覧ください。

4 分析項目ごとの水準判定について

- 現況調査表では、国立大学法人等には分析項目ごとの判定は求めません。

機構が行う現況分析においては、分析項目ごとに、学部・研究科等の目的や特徴、特色等に即して、優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果が認められる場合には、その内容に応じて優れた点や特色ある点として抽出し、記載項目ごとの「基本的な記載事項」とともに総合して、以下の区分により4段階で判定します。

分析項目の段階判定の区分表

判定を示す記述	判断する考え方
特筆すべき高い質にある	それぞれの学部・研究科等の目的に照らして、取組や活動、成果の状況が非常に優れていると判断される場合
高い質にある	それぞれの学部・研究科等の目的に照らして、取組や活動、成果の状況が優れていると判断される場合
相応の質にある	それぞれの学部・研究科等の目的に照らして、取組や活動、成果の状況が相応であると判断される場合
質の向上が求められる	それぞれの学部・研究科等の目的に照らして、取組や活動、成果の状況が不十分であると判断される場合

(判定に当たっての留意事項)

- i) 判定に当たっては、構成・規模の異なる学部・研究科等において、それぞれの歴史や立地条件、社会からの要請等を踏まえた個性ある独自の活動がなされていることを尊重して行います。
- ii) 判定は、学部・研究科等の目的に照らして、取組や活動、成果の状況がどの程度の水準にあるのかという視点で行います。その際、第2期中期目標期間終了時点と評価時点の水準の状況を勘案し、質の向上の状況も含めて行います。
- iii) 判定に当たっては、教育研究活動に関連する様々なデータを適宜活用して、公正性に配慮して行います。

II 「基本的な記載事項」について

1 「基本的な記載事項」の概要について

- 「基本的な記載事項」は、当該記載項目を調査・分析するに当たり、必要と認められる記載事項です。記述に当たっては文章ではなく、根拠となる資料・データを提示する形を推奨しており、主に以下の4種類が挙げられます。

- ① 学部・研究科等が所有する、もしくは作成した資料・データ
- ② 本ガイドラインの様式に基づく資料・データ（【各種様式】p.141～等を参照）
- ③ 大学ポートレートによるデータ分析集等（p.5～7を参照）
- ④ 政府公表データ（p.8を参照）

- 「基本的な記載事項」の根拠となる資料・データについては、それぞれに「基準日」または「対象年度」を設定しています。

詳しくは「V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」」（p.31～）をご覧ください。

- 「基本的な記載事項」の根拠となる資料・データの名称や別添資料番号等を現況調査表の本文に記述する際には、当該学部・研究科等の学科・専攻等ごとでなく、学部・研究科等ごとにまとめるなどにより分量をコンパクトに収めてください。

現況調査表の本文に記述する分量については、「作成要領」（p.12）において以下のとおり指定しています。

<「実績報告書作成要領」p.12より>

「○○学部の教育目的と特徴」を1頁以内とし、「「教育の水準」の分析」においては、記載項目一つ当たり1頁として算出される総頁数を目安に記述してください。

※ 研究の現況分析においても同様です。

- 上記①「学部・研究科等が所有する、もしくは作成した資料・データ」については、以下の例のように現況調査表の本文に記述してください。詳しくは「IV 現況調査表・別添資料のイメージ」（p.12～）をご覧ください。

（例）必須記載項目3「教育課程の編成、授業科目の内容」の基本的な記載事項：

体系性が確認できる資料として、計五つの別添資料を提示する場合

- ・ 体系性が確認できる資料（別添資料0101-i3-1～5）

別添資料の命名について

別添資料の番号は、以下3点を順に「-（半角ハイフン）」でつなぎ、すべて半角で作成してください。

- ・ 法人番号及び学部・研究科等の通し番号（それぞれ2桁の計4桁の半角数字）
- ・ 分析項目番号（Iの場合には「半角のi」、IIの場合には「半角のii」）及び記載項目の半角数字（もしくは半角英字大文字）
- ・ 固有の資料番号（半角数字）

- 前頁②「本ガイドラインの様式に基づく資料・データ」については、【各種様式】(p. 141～) 及び「V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」」(p. 31～) に掲載の様式に基づき提出してください。

【各種様式】

- ・協定等に基づく留学期間別日本人留学生数
- ・履修指導の実施状況が確認できる資料
- ・学習相談の実施状況が確認できる資料
- ・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料
- ・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料
- ・入学定員充足率
- ・標準修業年限内卒業（修了）率
- ・「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率
- ・当該現況分析単位に関する本務教員の年齢構成が確認できる資料

「V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」」に掲載されている様式

- ・研究活動状況に関する資料（学系別）
→ 学系別に様式が異なります。当該学系の様式に基づき提出してください。

2 大学ポートレートによるデータ分析集等の活用について

- 大学ポートレートシステムを通じて作成したデータ分析集(以下「データ分析集」という。)を「基本的な記載事項」の根拠となる資料・データの一部として活用します。データ分析集の各指標については、【データ分析集 指標一覧】のとおりです。

- データ分析集の指標については、以下の例のように現況調査表の本文に記述してください。

(例) 必須記載項目4「授業形態、学習指導法」の基本的な記載事項：

- 専任教員あたりの学生数、専任教員に占める女性専任教員の割合 の場合
- ・ 指標番号9～10（データ分析集）

※ 大学ポートレートシステムを通じて作成した入力データ集（以下「入力データ集」という。）を基に、機構において学部・研究科等ごとに整理した「博士の学位授与数（課程博士のみ）」についても「基本的な記載事項」の根拠となる資料・データの一部として活用します。

現況調査表の本文には以下のとおり記述してください。

- ・ 博士の学位授与数（課程博士のみ）（入力データ集）

- データ分析集及び入力データ集の基となるデータは、国立大学法人等から毎年度提出を求めており、機構において整理の上、機構から評価者に直接提供するため、改めて機構に提出する必要はありません。

【データ分析集 指標一覧】

区分	指標番号	データ・指標	指標の計算式
1. 学生入学・在籍状況データ	1	女性学生の割合	女性学生数／学生数
	2	社会人学生の割合	社会人学生数／学生数
	3	留学生の割合	留学生数／学生数
	4	正規課程学生に対する科目等履修生等の比率	科目等履修生等数／学生数
	5	海外派遣率	海外派遣学生数／学生数
	6	受験者倍率	受験者数／募集人員
	7	入学定員充足率	入学者数／入学定員
	8	学部生に対する大学院生の比率	大学院生総数／学部学生総数
2. 教職員データ	9	専任教員あたりの学生数	学生数／専任教員数
	10	専任教員に占める女性専任教員の割合	女性専任教員数／専任教員数
	11	本務教員あたりの研究員数	研究員数／本務教員数
	12	本務教員総数あたり職員総数	職員総数／本務教員総数
	13	本務教員総数あたり職員総数(常勤、常勤以外別)	職員総数(常勤)／本務教員総数 職員総数(常勤以外)／本務教員総数
3. 進級・卒業データ	14	留年率	留年者数／学生数
	15	退学率	退学者・除籍者数／学生数
	16	休学率	休学者数／学生数
	17	卒業・修了者のうち標準修業年限内卒業・修了率	標準修業年限内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	18	卒業・修了者のうち標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	19	受験者数に対する資格取得率	合格者数／受験者数
	20	卒業・修了者数に対する資格取得率	合格者数／卒業・修了者数
	21	進学率	進学者数／卒業・修了者数
	22	卒業・修了者に占める就職者の割合	就職者数／卒業・修了者数
	4. 卒業後の進路データ	23	職業別就職率
24		産業別就職率	産業区分別就職者数／就職者数合計

※ 部分の指標（指標番号8、12～13）については、国立大学全体の指標のため、学部・研究科等ごとの現況調査表の指標には活用しません。

区分	指標 番号	データ・指標	指標の計算式
5. 競争的外部 資金データ	25	本務教員あたりの科研費申請件数 (新規)	申請件数(新規)／本務教員数
	26	本務教員あたりの科研費採択内定件数	内定件数(新規)／本務教員数 内定件数(新規・継続)／本務教員数
	27	科研費採択内定率(新規)	内定件数(新規)／申請件数(新規)
	28	本務教員あたりの科研費内定金額	内定金額／本務教員数 内定金額(間接経費含む)／本務教員数
	29	本務教員あたりの競争的資金採択件数	競争的資金採択件数／本務教員数
	30	本務教員あたりの競争的資金受入金額	競争的資金受入金額／本務教員数
6. その他外部 資金・特許 データ	31	本務教員あたりの共同研究受入件数	共同研究受入件数／本務教員数
	32	本務教員あたりの共同研究受入件数 (国内・外国企業からのみ)	共同研究受入件数(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	33	本務教員あたりの共同研究受入金額	共同研究受入金額／本務教員数
	34	本務教員あたりの共同研究受入金額 (国内・外国企業からのみ)	共同研究受入金額(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	35	本務教員あたりの受託研究受入件数	受託研究受入件数／本務教員数
	36	本務教員あたりの受託研究受入件数 (国内・外国企業からのみ)	受託研究受入件数(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	37	本務教員あたりの受託研究受入金額	受託研究受入金額／本務教員数
	38	本務教員あたりの受託研究受入金額 (国内・外国企業からのみ)	受託研究受入金額(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	39	本務教員あたりの寄附金受入件数	寄附金受入件数／本務教員数
	40	本務教員あたりの寄附金受入金額	寄附金受入金額／本務教員数
	41	本務教員あたりの特許出願数	特許出願数／本務教員数
	42	本務教員あたりの特許取得数	特許取得数／本務教員数
	43	本務教員あたりのライセンス契約数	ライセンス契約数／本務教員数
	44	本務教員あたりのライセンス収入額	ライセンス収入額／本務教員数
	45	本務教員あたりの外部研究資金の金額	(科研費の内定金額(間接経費含む)＋共同研 究受入金額＋受託研究受入金額＋寄附金受入 金額)の合計／本務教員数
	46	本務教員あたりの民間研究資金の金額	(共同研究受入金額(国内・外国企業からのみ) ＋受託研究受入金額(国内・外国企業からのみ) ＋寄附金受入金額)の合計／本務教員数

3 政府公表データの活用について

- 社会科学系、農学系及び保健系においては、教育の分析項目Ⅱ「教育成果の状況」を分析するに当たって、必須記載項目「卒業（修了）率、資格取得等」の「基本的な記載事項」として、国立大学法人が政府に毎年度報告し公表されている資格試験の合格率を指標として活用します。

また、同様に教育系においては、必須記載項目「就職、進学」の「基本的な記載事項」として、教員採用率を指標として活用します。

これらの指標については、機構から評価者に直接提供するため、機構に提出する必要はありません。現況調査票の本文には「基本的な記載事項」の根拠となる資料・データの一つとして、以下のとおり記述してください。

【社会科学系】

法科大学院修了者の司法試験合格率（法務省公表）

【農学系】

獣医学課程卒業生の獣医師国家試験合格率（農林水産省公表）

【保健系】

医学課程卒業生の医師国家試験合格率（厚生労働省公表）

歯学課程卒業生の歯科医師国家試験合格率（厚生労働省公表）

薬学課程卒業生の薬剤師国家試験合格率（厚生労働省公表）

看護師課程卒業生の看護師国家試験合格率（厚生労働省公表）

【教育系】

教員就職率（教員養成課程）（文部科学省公表）

正規任用のみの教員就職率（教員養成課程）（文部科学省公表）

教員就職率（教職大学院）（文部科学省公表）

正規任用のみの教員就職率（教職大学院）（文部科学省公表）

- このほか、教育の分析項目Ⅰ「教育活動の状況」を分析するに当たって、必須記載項目「学生の受入」の「基本的な記載事項」として、国立大学法人が文部科学省に毎年度報告し公表されている「入学者選抜確定志願状況」における、学部等ごとの「志願倍率」についても、学系共通の指標として活用します。

この指標については、機構から評価者に直接提供するため、機構に提出する必要はありません。現況調査票の本文には「基本的な記載事項」の根拠となる資料・データの一つとして、以下のとおり現況調査表の本文に記述してください。

入学者選抜確定志願状況における志願倍率（文部科学省公表）

4 機構が行う現況分析におけるデータ分析集等の指標の取扱い

- 機構が行う現況分析では、データ分析集の指標を以下3種類に区分しています。
各指標の区分については、「V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」(p.31～)のとおりです。

大学ポートレートによるデータ分析集の指標の区分

指標の区分	指標の内容
重要指標 (◆)	現況分析の評価者が必ず活用する重要な指標。
分析指標 (◇)	現況分析の評価者が必ず活用する指標。
参考指標 (・)	現況分析の評価者が必要に応じて参考とする指標。 (前回の第2期と同様、基礎資料とします。)

- データ分析集の指標のほか、以下の「基本的な記載事項」の根拠となる資料・データを指標として活用し、上記3種類と同様に区分しています。

協定等に基づく留学期間別日本人留学生数

インターンシップの実施状況が確認できる資料※

入学者選抜確定志願状況における志願倍率

入学定員充足率

標準修業年限内卒業(修了)率

「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率

政府公表データに基づく指標

博士の学位授与数(課程博士のみ)

当該現況分析単位に関する本務教員の年齢構成が確認できる資料

研究活動状況に関する資料(学系別)

※ 「インターンシップの実施状況が確認できる資料」については、各国立大学法人が文部科学省に提出している「平成29年度大学等におけるインターンシップ実施状況について」の調査票を基に、機構において学部・研究科等ごとに整理します。

この資料については、平成29年度実施分の調査票をそのまま機構に提出してください。

Ⅲ 「第3期中期目標期間に係る特記事項」について

1 「第3期中期目標期間に係る特記事項」の概要について

- 「第3期中期目標期間に係る特記事項」は、当該記載項目を調査・分析するに当たり、第3期中期目標期間（2016年度から）における各学部・研究科等の優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果を記述してください。
- 当機構の現況分析の評価者は、各学部・研究科等の目的や特徴、特色等に即して、優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果が認められる場合には、その内容に応じて「優れた点」や「特色ある点」として抽出することになっています。
抽出された「優れた点」や「特色ある点」は、分析項目ごとの段階判定（4段階）における加点要素となり得ます。

2 「キーワード」及び「具体的な記載例」について

- 各学部・研究科等の「第3期中期目標期間に係る特記事項」を記述するに当たり、「V 学系別の「基本的な記載事項」及び「第3期中期目標期間に係る特記事項」には、学系ごとに各記載項目の「キーワード」及び「具体的な記載例」を掲載しています。
- 「第3期中期目標期間に係る特記事項」における各記載項目の「キーワード」については、各学部・研究科等の優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果を「第3期中期目標期間に係る特記事項」として記述する記載項目を選択するための参考として利用してください。
なお、これらの「キーワード」に対応する「第3期中期目標期間に係る特記事項」をすべて記述することを求めるものではありません。
- 「キーワード」の冒頭には、以下の例のように「半角数字（もしくは半角英字）」「.（半角ピリオド）」「半角数字」の順でコードを付してあります。
(例) 3.1: カリキュラム／教育プログラムの体系的な構築、
教育プログラムとしての実施体制、教育目的に即した科目群の設定
A.1: キャンパスの国際化、グローバル人材育成

「第3期中期目標期間に係る特記事項」を記述する際は、該当する「キーワード」のコードを文末に[]（半角角括弧）書きで付記してください。
また、該当する「キーワード」がない場合には、以下の例のように文末に[]（半角角括弧）書きで付記してください。
(例) 必須記載項目3「教育課程の編成、授業科目の内容」の場合
→ [3.0]

- 「第3期中期目標期間に係る特記事項」における各記載項目の「具体的な記載例」については、第2期中期目標期間（2010～2015年度）における各学部・研究科等の現況分析で評価された取組や成果等を基に作成しており、政府・学術団体等の答申・提言等に見られる大学の教育研究活動への期待事項を含んでいます。

なお、これらの「具体的な記載例」は、記載に当たっての例示であり、「第3期中期目標期間に係る特記事項」に記載すべき内容を制限するものではありません。

- 「第3期中期目標期間に係る特記事項」を記載するに当たっては、以下の2点について留意してください。

- ★ 取組や活動の内容（インプットやプロセス）だけでなく、実績や成果（アウトプットやアウトカム）の内容を具体的かつ客観的に記載すること。

- ★ 実績や成果（アウトプットやアウトカム）の内容については、第2期中期目標期間終了時点から評価時点までの変化を具体的かつ客観的に記載すること。

IV 現況調査表・別添資料のイメージ

【教育：学士課程】

1. ○○学部

(1) ○○学部の教育目的と特徴	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-2
(2) 「教育の水準」の分析	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-3
分析項目Ⅰ 教育活動の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-3
分析項目Ⅱ 教育成果の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-●
【参考】データ分析集 指標一覧	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-●

(1) ○○学部の教育目的と特徴

1. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

2. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

3. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

4. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

(2) 「教育の水準」の分析

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

< 必須記載項目 1 学位授与方針 >

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された学位授与方針（別添資料 0101-i1-1～3）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

< 必須記載項目 2 教育課程方針 >

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された教育課程方針（別添資料 0101-i2-1～3）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

必須記載項目「教育課程の編成、授業科目の内容」及び「授業形態、学習指導法」における「第3期中期目標期間に係る特記事項」の記載に当たって

- 国立大学協会の依頼文書では以下のとおり明記されています。したがって、この二つの記載項目の特記事項への記載に当たっては、該当すると判断する取組や成果をすべて記載してください。

教育活動の状況の中でも「教育課程の編成、授業科目の内容」及び「授業形態、学習指導法」の2項目は中核的な項目であり、各学部・研究科の先導的な取組や質の高い取組を評価できるよう工夫いただきたい。そのため、これらの2項目については、学部・研究科等が優れている点や特筆すべき点を自らが記載するすべての特記事項への記入を必須にして、学部・研究科等毎の評価結果に活用できるようにし、その旨を明記いただくことを検討していただきたい。

< 必須記載項目 3 教育課程の編成、授業科目の内容 >

【基本的な記載事項】

- ・ 体系性が確認できる資料
(別添資料 0101-i3-1~6)
- ・ 自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料
(別添資料 0101-i3-7)

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [3.1]

【本特記事項記載に当たっての視点】

- 国立大学協会の依頼文書では、以下のような視点が例として示されています。

学部等

- ・ 各学部が定めるディプロマポリシーの実現のための効果的な教育プログラムが体系的に構築されているか。
- ・ 学際的な幅広い視野を身に付けることができるようなプログラムの構築や学習機会・環境の整備が行われているか。
- ・ グローバル人材の育成や、多文化共生・異文化コミュニケーション、さらにはダイバーシティを重視する教育など、教育・人材育成への現代的かつ多様なニーズに応えた取組を行っているか。
- ・ 社会・産業界との連携、地域貢献などを含む多様な学修活動を通じて、課題発見・解決能力を育成する取組を行っているか。

大学院等

- ・ 各研究科等の定めるディプロマポリシー実現のための効果的な教育プログラムが体系的に構築されているか（例えば、コースワーク化、アカデミア・ノンアカデミアという修了後の多様な進路に応じた教育内容など）。
- ・ 社会ニーズや学術動向に即して学位プログラム等をいかに構築し実施しているか（例えば、リーディング大学院や卓越大学院などの取組、社会人向けのプログラムの開発など）。
- ・ 長期にわたる国際的な学修経験を積ませるための組織的なプログラムが整備されているか（例えば、ダブル・ディグリーやジョイント・ディグリーのプログラムの拡充など）。

< 必須記載項目 4 授業形態、学習指導法 >

【基本的な記載事項】

- ・ 1年間の授業を行う期間が確認できる資料
(別添資料 0101-i4-1)
- ・ シラバスの全件、全項目が確認できる資料、学生便覧等関係資料
(別添資料 0101-i4-2～5)
- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数
(別添資料 0101-i4-6)
- ・ インターンシップの実施状況が確認できる資料
(別添資料 0101-i4-7)
- ・ 指標番号 5、9～10 (データ分析集)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~。 [4.2]
- ~~~~~  
~~~~~。 [4.3]

【本特記事項記載に当たっての視点】

- 国立大学協会の依頼文書では、以下のような視点が例として示されています。

学部等

- ・ 生涯学び続ける力や主体性を涵養するための教育方法の導入を組織的に行っているか (例えば、少人数によるアクティブラーニングやフィールドワークの推進や、国内外における PBL などの多様な学習機会の提供、授業外の学修の促進と学修時間の把握など)。
- ・ 大学外の機関等と連携し、実践的能力を身につけるための教育方法やその評価方法の工夫を行っているか (例えば、実習やインターンシップなどの教室外学修を重視している学系においては、それらに関する工夫がどのようになされているか)。
- ・ 情報通信技術 (ICT) などの多様なメディアを活用した新たな教育方法の導入を組織的に行っているか。
- ・ グローバルに活躍できる人材の養成のための国際的な視野や国際感覚を涵養する教育方法を組織的に行っているか。

大学院等

- ・ 高度専門職業人の養成を主たる目的とする教育課程においては、多様な職業を担う上で必要となる高度かつ広範な専門的能力と高度な汎用的能力の育成方法や、実践的能力の涵養の方法をどのように工夫しているか（例えば、学外の機関と連携したインターンシップや、地域社会と連携したフィールドワークなどの実社会での経験を通じた教育を重視している学系においては、それらに関する工夫がどのようになされているか）。
- ・ 研究者養成を主たる目的とする教育課程においては、研究指導・訓練の方法や、大学の研究職以外も含めた多様なキャリアにもつながる能力の養成の方法をどのように工夫しているか（例えば、複数教員による研究指導等による俯瞰的視野の醸成、国際的な研究経験、共同研究への学生の参画など。また、産業界等と連携した研究指導や学生の産学共同研究への参画を重視している学系においては、それらに関してどのような工夫がなされているか）。
- ・ 専門職大学院の課程においては、理論と実務の架橋を図る教育方法の工夫や、演習、実習・現場教育、事例研究等の実践的な教育方法の導入をどのように工夫しているか。

< 必須記載項目 5 履修指導、支援 >

【基本的な記載事項】

- ・ 履修指導の実施状況が確認できる資料（別添資料 0101-i5-1～3）
- ・ 学習相談の実施状況が確認できる資料（別添資料 0101-i5-4～6）
- ・ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料（別添資料 0101-i5-7～9）
- ・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料（別添資料 0101-i5-10～12）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [5.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [5.3]

< 必須記載項目 6 成績評価 >

【基本的な記載事項】

- ・ 成績評価基準（別添資料 0101-i6-1～2）
- ・ 成績評価の分布表（別添資料 0101-i6-3～5）
- ・ 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料（別添資料 0101-i6-6）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [6. 1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [6. 2]

< 必須記載項目 7 卒業（修了）判定 >

【基本的な記載事項】

- ・ 卒業又は修了の要件を定めた規定（別添資料 0101-i7-1～2）
- ・ 卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長などの組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料
（別添資料 0101-i7-3～4）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [7. 2]

< 必須記載項目 8 学生の受入 >

【基本的な記載事項】

- ・ 学生受入方針が確認できる資料（別添資料 0101-i8-1～3）
- ・ 「毎年度の入学者選抜確定志願状況」（文部科学省公表）
- ・ 入学定員充足率（別添資料 0101-i8-4）
- ・ 指標番号 1～3、6～7（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [8.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [8.2]

<選択記載項目 A 教育の国際性>

【基本的な記載事項】

- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数
(別添資料 0101-i4-6)
- ・ 指標番号 3、5 (データ分析集)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [A.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [A.0]

<選択記載項目 B 地域連携による教育活動>

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [B.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [B.0]

<選択記載項目C 教育の質の保証・向上>

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○ ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [C.1]

○ ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [C.2]

<選択記載項目D リカレント教育の推進>

【基本的な記載事項】

- ・ リカレント教育の推進に寄与するプログラムが公開されている刊行物、ウェブサイト等の該当箇所（別添資料 0101-iD-1）
- ・ 指標番号2、4（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○ ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [D.1]


分析項目Ⅱ 教育成果の状況

< 必須記載項目 1 卒業（修了）率、資格取得等 >

【基本的な記載事項】

- ・ 標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料 0101-ii1-1）
- ・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料 0101-ii1-2）
- ・ 指標番号 14～20（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [1.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [1.2]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [1.3]

【本特記事項記載に当たっての視点】

- 国立大学協会の依頼文書では、以下のように示されています。

教育成果については、学生が教育プログラムを修了して取得する学位や卒業（修了）率、資格取得率だけでなく、特記事項として大学において教育プログラムの一環として教育成果を測定し、把握する取組について記入することとし、それらを含めて広く評価していただきたい。

各学系において学修成果としてどのような測定や把握の結果を重視するかを設定いただくとともに、独自に学修成果を測定・可視化する工夫を行って、その実績を示している学部・研究科を高く評価するような視点を設定いただき、それに即して評価していただきたい。

（例）学外試験の結果、学生の教育成果に係る賞（ただし、学外で設けられている賞）の受賞、コンピテンスの測定など。

<必須記載項目2 就職、進学>

【基本的な記載事項】

- ・ 指標番号 21～24（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [2.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [2.2]

【本特記事項記載に当たっての視点】

- 国立大学協会の依頼文書では、以下のように示されています。

国立大学としての教育の意義として、卒業（修了）生が得た知識や技術を活かして広く社会で活躍することにより、成果が発現することが期待されている。就職、進学の状況だけでなく、特記事項として卒業（修了）生の活躍を把握する取組とその成果について記入することとし、それらを含めて広く評価していただきたい。

社会において重視される学修成果は分野によって異なることから、各学系においてどのような社会における学修成果を重視するかを設定いただくとともに、独自に学修成果の測定や、成果の可視化の工夫を行ってその実績を示している学部・研究科を高く評価するような視点を設定いただき、それに即して評価していただきたい。

（例）高度専門職として活躍する卒業（修了）生の割合、育成しようとしている人材像と進学・就職結果との対比（産業・職種別就職率など）、博士課程学生調査・博士人材データベース（JGRAD）による就労状況調査の結果、地域において必要な人材を供給しているデータ、グローバルに活躍する人材を供給しているデータ、教育の成果を直接的に用いて顕著な活躍をしている卒業（修了）生の事例、社会人学生の修了後のキャリアなど。

<選択記載項目 A 卒業（修了）時の学生からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・ 学生からの意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料
(別添資料 0101-iiA-1)

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [A. 1]

<選択記載項目 B 卒業（修了）生からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料（別添資料 0101-iiB-1）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [B. 1]

<選択記載項目 C 就職先等からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・ 就職先や進学先等の関係者への意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料
(別添資料 0101-iiC-1)

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [C. 1]

教育に関する現況調査表 別添資料一覧イメージ

| | 番号 | 資料・データ名 | 頁 |
|----|------------|---|----|
| 教育 | 0101-i1-1 | 〇〇学部△△学科のディプロマ・ポリシー（2019年度） | 1 |
| 教育 | 0101-i1-2 | 〇〇学部□□学科のディプロマ・ポリシー（2019年度） | 2 |
| 教育 | 0101-i1-3 | 〇〇学部◇◇学科のディプロマ・ポリシー（2019年度） | 3 |
| 教育 | 0101-i2-1 | 〇〇学部△△学科のカリキュラム・ポリシー（2019年度） | 4 |
| 教育 | 0101-i2-2 | 〇〇学部□□学科のカリキュラム・ポリシー（2019年度） | 5 |
| 教育 | 0101-i2-3 | 〇〇学部◇◇学科のカリキュラム・ポリシー（2019年度） | 6 |
| 教育 | 0101-i3-1 | 〇〇学部△△学科のカリキュラム・マップ（2019年度） | 7 |
| 教育 | 0101-i3-2 | 〇〇学部□□学科のカリキュラム・マップ（2019年度） | 8 |
| 教育 | 0101-i3-3 | 〇〇学部◇◇学科のカリキュラム・マップ（2019年度） | 9 |
| 教育 | 0101-i3-4 | 〇〇学部△△学科のコース・ツリー（2019年度） | 10 |
| 教育 | 0101-i3-5 | 〇〇学部□□学科のコース・ツリー（2019年度） | 11 |
| 教育 | 0101-i3-6 | 〇〇学部◇◇学科のコース・ツリー（2019年度） | 12 |
| 教育 | 0101-i3-7 | ●●大学の自己点検・評価報告書（平成●年●月）【抜粋】 | 13 |
| 教育 | 0101-i4-1 | ●●大学の学年暦（2019年度） | 14 |
| 教育 | 0101-i4-2 | 〇〇学部△△学科シラバス（2019年度） | 15 |
| 教育 | 0101-i4-3 | 〇〇学部□□学科シラバス（2019年度） | 16 |
| 教育 | 0101-i4-4 | 〇〇学部◇◇学科シラバス（2019年度） | 17 |
| 教育 | 0101-i4-5 | 〇〇学部学生便覧（2019年度） | 18 |
| 教育 | 0101-i4-6 | 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数（2016～2018年度） | 19 |
| 教育 | 0101-i4-7 | 〇〇学部の「インターンシップの実施状況に関する調査」の調査票（2017年度） | 20 |
| 教育 | 0101-i5-1 | 履修指導の実施状況が確認できる資料（〇〇学部△△学科，2019年度） | 21 |
| 教育 | 0101-i5-2 | 履修指導の実施状況が確認できる資料（〇〇学部□□学科，2019年度） | 22 |
| 教育 | 0101-i5-3 | 履修指導の実施状況が確認できる資料（〇〇学部◇◇学科，2019年度） | 23 |
| 教育 | 0101-i5-4 | 学習相談の実施状況が確認できる資料（〇〇学部△△学科，2019年度） | 24 |
| 教育 | 0101-i5-5 | 学習相談の実施状況が確認できる資料（〇〇学部□□学科，2019年度） | 25 |
| 教育 | 0101-i5-6 | 学習相談の実施状況が確認できる資料（〇〇学部◇◇学科，2019年度） | 26 |
| 教育 | 0101-i5-7 | 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料（〇〇学部△△学科，2019年度） | 27 |
| 教育 | 0101-i5-8 | 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料（〇〇学部□□学科，2019年度） | 28 |
| 教育 | 0101-i5-9 | 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料（〇〇学部◇◇学科，2019年度） | 29 |
| 教育 | 0101-i5-10 | 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料（〇〇学部△△学科，2019年度） | 30 |
| 教育 | 0101-i5-11 | 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料（〇〇学部□□学科，2019年度） | 31 |
| 教育 | 0101-i5-12 | 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料（〇〇学部◇◇学科，2019年度） | 32 |
| 教育 | 0101-i6-1 | 〇〇学部規則（平成●年●月最終改正）【抜粋】 | 33 |
| 教育 | 0101-i6-2 | 〇〇学部 成績評価に関する内規（平成●年●月最終改正） | 34 |
| 教育 | 0101-i6-3 | 成績評価の分布表（〇〇学部△△学科，2019年度前期及び後期） | 35 |
| 教育 | 0101-i6-4 | 成績評価の分布表（〇〇学部□□学科，2019年度前期及び後期） | 36 |
| 教育 | 0101-i6-5 | 成績評価の分布表（〇〇学部◇◇学科，2019年度前期及び後期） | 37 |
| 教育 | 0101-i6-6 | 〇〇学部学生便覧（2019年度）【抜粋】 | 38 |
| 教育 | 0101-i7-1 | ●●大学学則（平成●年●月最終改正） | 39 |
| 教育 | 0101-i7-2 | 〇〇学部規則（平成●年●月最終改正）【抜粋】 | 40 |
| 教育 | 0101-i7-3 | 〇〇学部学修規程（平成●年●月最終改正） | 41 |
| 教育 | 0101-i7-4 | 〇〇学部教授会規則（平成●年●月最終改正） | 42 |
| 教育 | 0101-i8-1 | 〇〇学部△△学科のアドミッション・ポリシー（2019年度） | 43 |
| 教育 | 0101-i8-2 | 〇〇学部□□学科のアドミッション・ポリシー（2019年度） | 44 |
| 教育 | 0101-i8-3 | 〇〇学部◇◇学科のアドミッション・ポリシー（2019年度） | 45 |
| 教育 | 0101-i8-4 | 〇〇学部の入学定員充足率（2016～2019年度） | 46 |
| 教育 | 0101-iD-1 | 〇〇学部履修証明プログラムのパンフレット（2019年度） | 47 |
| 教育 | 0101-ii1-1 | 標準修業年限内卒業（修了）率（2016～2019年度） | 48 |
| 教育 | 0101-ii1-2 | 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（2016～2019年度） | 49 |
| 教育 | 0101-iiA-1 | 2018年度卒業時アンケート（〇〇学部）【抜粋】 | 50 |
| 教育 | 0101-iiB-1 | 2017年度〇〇学部卒業生アンケート | 51 |
| 教育 | 0101-iiC-1 | 2016年度〇〇学部就職先アンケート結果 | 52 |

〈別添資料の命名規則〉

0101 - i1 - 1

法人番号（2桁）＋学部・研究科等ごとの通し番号（2桁）の計4桁

分析項目番号（Iの場合にはi、IIの場合にはii）＋記載項目の数字または英字大文字

資料固有の番号（通し番号）

※「-（ハイフン）」も含めてすべて半角で作成してください。

【研究】

1. ○○学部・△△研究科

| | |
|------------------------|-----|
| (1) ○○学部・△△研究科の研究目的と特徴 | 1-2 |
| (2) 「研究の水準」の分析 | 1-3 |
| 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 | 1-3 |
| 分析項目Ⅱ 研究成果の状況 | 1-● |
| 【参考】データ分析集 指標一覧 | 1-● |

(1) ○○学部・△△研究科の研究目的と特徴

1. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

2. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

3. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

4. ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。

(2) 「研究の水準」の分析

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

< 必須記載項目 1 研究の実施体制及び支援・推進体制 >

【基本的な記載事項】

- ・ 教員・研究員等の人数が確認できる資料（別添資料 0101-i1-1）
- ・ 共同利用・共同研究の実施状況が確認できる資料
（別添資料 0101-i1-2）
- ・ 本務教員の年齢構成が確認できる資料（別添資料 0101-i1-3）
- ・ 指標番号 11（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [1.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [1.0]

< 必須記載項目 2 研究活動に関する施策／研究活動の質の向上 >

【基本的な記載事項】

- ・ 構成員への法令遵守や研究者倫理等に関する施策の状況が確認できる資料
（別添資料 0101-i2-1～3）
- ・ 研究活動を検証する組織、検証の方法が確認できる資料
（別添資料 0101-i2-4）
- ・ 博士の学位授与数（課程博士のみ）（入力データ集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [2.1]
- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [2.2]

< 必須記載項目 3 論文・著書・特許・学会発表など >

【基本的な記載事項】

- ・ 研究活動状況に関する資料（人文科学系）
（別添資料 0101-i3-1）
- ・ 指標番号 41～42（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

< 必須記載項目 4 研究資金 >

【基本的な記載事項】

- ・ 指標番号 25～40、43～46（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

< 選択記載項目 A 地域連携による研究活動 >

【基本的な記載事項】

（特になし）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [A. 1]

< 選択記載項目 C 研究成果の発信／研究資料等の共同利用 >

【基本的な記載事項】

（特になし）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [C. 1]


分析項目Ⅱ 研究成果の状況

< 必須記載項目 1 研究業績 >

【基本的な記載事項】

- ・ 研究業績説明書

(当該学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準)

本学部・研究科は、~~~~~
~~~~~  
~~~~~という目的を有しており、~~~~~  
~~~~~の特色がある。したがって、  
~~~~~  
~~~~~という点が最も重要であると考えている。また、~~~~~  
~~~~~であり、~~~~~  
~~~~~であるため、~~~~~  
~~~~~という点も考慮している。それらを踏まえ、~~~~~  
~~~~~  
~~~~~という判断基準で研究業績を選定している。

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ~~~~~
~~~~~  
~~~~~。 [1.0]

【本特記事項記載に当たっての視点】

- 国立大学協会の依頼文書では、以下のように示されています。

研究業績の評価においては、学術的なインパクトの高い国際的な研究水準の業績はもとより、社会・経済・文化の発展やイノベーションへの貢献などの社会的なインパクトや地域の発展への貢献も重視して評価していただきたい。

そのような視点から、研究業績説明書の限られた説明だけでなく、各大学において、特色ある成果や研究のインパクト、取組を特記事項に記入することを促していただきたい。また、適切な指標の在り方についても検討していただきたい。

【各種様式】

- 必須記載項目「授業形態、学習指導法」及び選択記載項目「教育の国際性」に関する様式
- ・ 当該現況分析単位に関する「協定等に基づく留学期間別日本人留学生数」

(単位：人)

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 計 |
|----------------|--------|--------|--------|---|
| 学生数 | | | | |
| 1か月未満 | | | | |
| 1か月以上
3か月未満 | | | | |
| 3か月以上
6か月未満 | | | | |
| 6か月以上
1年未満 | | | | |
| 1年以上 | | | | |
| 不明 | | | | |

※ 本様式記入に当たっての定義については、独立行政法人日本学生支援機構が毎年度実施している「留学生調査」記入要領のうち「【4】日本人学生留学状況調査」によるものとしてください。

なお、学生数については、各年度の5月1日現在としてください。

○ 必須記載項目「履修指導、支援」に関する様式

- 履修指導の実施状況が確認できる資料

(記入例)

| 取組 | 実施組織 | 実施状況 |
|----------|----------|---------------------------------------|
| ガイダンス | 〇〇学部 | 年度当初 学部 (1回)、学科別 (1回) |
| 担任制 | 〇〇学部 | 1年次、2年次においては、出身地別
3年次、4年次においては、専門別 |
| ポートフォリオ | 教育支援センター | ・・・センター報告書 |
| 能力別クラス分け | 教育支援センター | 英語について、TOEIC 点数によって 3 段階に分けて実施 |
| リメディアル教育 | 教育支援センター | 入学時に一斉テストを課し、一定点数以下の者に対し実施 |

- 学習相談の実施状況が確認できる資料

(記入例)

| 取組 | 実施組織 | 実施状況 |
|---------|------|---------------|
| オフィスアワー | 〇〇学部 | 20〇年度においては・・・ |
| 学習相談 | 〇〇学部 | |

- 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料

(記入例)

| 取組 | 実施組織 | 実施状況 |
|-------------|----------|---|
| キャリア関連科目の開設 | 就職支援センター | キャリア科目Ⅰ (受講者 20 人)、キャリア科目Ⅱ (受講者 50 人) の開講 |
| インターンシップ | 就職支援センター | 国内 7 施設 30 人、国外 2 施設 1 人 |
| ボランティア活動 | 教育支援センター | 近隣地方自治体の社会福祉協議会と連携し、実施 (学童保育支援 200 人) |

- 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料

(記入例)

| 対象 | 実施組織 | 実施状況 |
|-------------------|------|----------------|
| 障害のある学生 | 〇〇学部 | ノートテーカーの配置 |
| 留学生 | 国際本部 | 留学生相談室の開室 |
| その他履修上特別な支援を要する学生 | 〇〇学部 | IT 機器を利用した遠隔指導 |

○ 必須記載項目「学生の受入」に関する様式

- ・ 入学定員充足率

→ 「認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2」を使用してください。

当機構のウェブサイト (<https://www.niad.ac.jp/>) に本様式を掲載しています。

(本様式の掲載ページ)

「HOME」 > 「大学等の評価」 > 「大学機関別認証評価」 >

「大学機関別認証評価実施大綱等・評価手数料・自己評価書様式等」

| 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2(〇年5月1日現在) | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|----|
| 学部名 | 学科名 | 項目 | 〇年度 | 〇年度 | 〇年度 | 〇年度 | 〇年度 | 入学定員に対する平均比率 | 備考 |
| 〇
〇
学部 | 〇
〇
学科 | 志願者数 | | | | | | | |
| | | 合格者数 | | | | | | | |
| | | 入学者数 | | | | | | | |
| | | 入学定員 | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率 | | | | | | | |
| | | 在籍学生数 | | | | | | | |
| | | 収容定員 | | | | | | | |
| | ×
×
学科 | 志願者数 | | | | | | | |
| | | 合格者数 | | | | | | | |
| | | 入学者数 | | | | | | | |
| | | 入学定員 | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率 | | | | | | | |
| | | 在籍学生数 | | | | | | | |
| | | 収容定員 | | | | | | | |
| 学部合計 | 志願者数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 合格者数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学者数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学定員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学定員充足率 | | | | | | | | |
| | 在籍学生数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 収容定員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |

| <編入学> | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|
| 学部名 | 学科名 | 項目 | 〇年度 | 〇年度 | 〇年度 | 〇年度 | 〇年度 | 備考 | |
| 〇
〇
学部 | 〇
〇
学科 | 入学者数(2年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(2年次) | | | | | | | |
| | | 入学者数(3年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(3年次) | | | | | | | |
| | | 入学者数(4年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(4年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(4年次) | | | | | | | |
| | ×
×
学科 | 入学者数(2年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(2年次) | | | | | | | |
| | | 入学者数(3年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(3年次) | | | | | | | |
| | | 入学者数(4年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(4年次) | | | | | | | |
| | | 入学定員(4年次) | | | | | | | |
| 学部合計 | 入学者数(2年次) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学定員(2年次) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学者数(3年次) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学定員(3年次) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学者数(4年次) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学定員(4年次) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 入学定員(4年次) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |

[注]

- 1 学生を募集している学部・学科(課程)、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意してください。
- 2 昼夜間講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 3 学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
- 4 学部・学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
- 5 募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
- 6 入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
- 7 入学定員に対する平均比率は、過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
- 8 最新年度の秋入学については別途確認します。
- 9 編入学の定員を設定している場合、上の表(<編入学>の表ではない方)の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。

○ 必須記載項目「卒業（修了）率、資格取得等」に関する様式

・ 標準修業年限内卒業（修了）率

| 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|---------|---------|---------|---------|
| | | | |

(算出方法)

標準修業年限内卒業（修了）率^{※注1} =

標準修業年限で卒業（修了）した者の数

÷ 標準修業年限（例：4年制学部であれば4年）前の入学者数

※注1 長期履修制度を利用している学生及び編入学による学生については、基本的に算入しないでください。算入する場合には、その旨を明記してください。

【例】4年制学部についての2019年度における標準修業年限内卒業率

2016年度入学者数 200人

2016年度入学者のうち、2019年度卒業生 175人

標準修業年限内卒業率 = $175 \div 200 = 87.5\%$

・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率

| 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|---------|---------|---------|---------|
| | | | |

(算出方法)

「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率^{※注1・2} =

Aのうち、(標準修業年限×1.5)年間に学位を取得した者の数^{※注3}

÷ (標準修業年限×1.5)年前の入学者数 (A)

※注1 長期履修制度を利用している学生及び編入学による学生については、基本的に算入しないでください。算入する場合には、その旨を明記してください。

※注2 「標準修業年限×1.5」の算出において、端数がある場合は、1年として切り上げる。

※注3 博士課程においては、便宜上、単位取得満期退学後に学位を取得した者を含める。

【例】4年制学部についての2019年度における「標準修業年限×1.5」内卒業率

2014年度入学者数 100人

2014年度入学者のうち、

卒業生 (2017年度 80人、2018年度 7人、2019年度 3人)

「標準修業年限×1.5」年内卒業率 = $80 + 7 + 3 \div 100 = 90\%$

- 必須記載項目「研究の実施体制及び支援・推進体制」に関する様式
 - ・ 当該現況分析単位に関する本務教員の年齢構成が確認できる資料

| 職名 | 年齢※ | | | | |
|--------|------|--------|--------|--------|------|
| | ～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65歳～ |
| 教授 | | | | | |
| 准教授 | | | | | |
| 講師 | | | | | |
| 助教 | | | | | |
| 助手 | | | | | |
| 計 | | | | | |
| 割合 (%) | | | | | |

※ 2019年5月1日現在の年齢としてください。

独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構

〒187-8587
東京都小平市学園西町1-29-1
TEL / 042-307-1681、1671
URL / <https://www.niad.ac.jp/>